

行政や膜開発の最新動向を共有

神戸大先端
膜研究所

膜工学講演会・サロンを開催

2025年度膜工学春季講演会・膜工学サロン
(共催)神戸大学先端膜工学研究センター・一般社団法人先端膜工学研究推進機構)がこのほど、

神戸大学内の会場とオンラインのハイブリッドで開催された。講演会は産官学3題、サロンは水処理など11グループで意見交換が行われ、合計で約



松山センター長

160人が聴講した。松山秀人・同センター長(同機構長)があいさつ後、講演会では水橋正



約80人が聴講した神戸大学の会場

典・国土交通省大臣官房
参事官付調整官が「下水道行政の最近の動向について」と題して講演。下水道の現状や2026年度下水道事業予算の概要をはじめ、最近の動きとして八潮市での道路陥没事故や第1次国土強靭化実施中期計画などの概

要を説明した。

また、宮田隆志・関西大学教授はスマート膜材料としてハイドロゲルの応用、サイエンスコスベシャルティポリマーズジャパンの小森谷北斗氏はポリエーテル系熱可塑性樹脂を用いた膜開発などの取り組みを報告した。

サロンの水処理は3グループで▽高効率分離膜による溶剤回収への貢献▽非平衡分子動力学法によるナノ細孔膜の透過シミュレーション▽磁気分離技術の社会実装野可能性―について意見交換した。